

報告書

報告先 日本卓球協会

報告日時 平成19年 2月12日

専務理事 木村興治 殿

常務理事 前原正浩 殿

担当理事 若尾輝夫 殿

報告者 ドーピングコントロール委員会

委員長 松尾史朗

平成18年度全日本卓球選手権大会におけるドーピング検査結果報告

報告概要

平成19年1月19日(金)、20日(土)に行った12件のドーピング検査の結果は、全て陰性であり、禁止薬物の検出はありませんでした。

報告内容

1) 検査の実施

平成19年1月19日(金)、20日(土)の2日間、東京体育館において行われた平成18年度全日本卓球選手権大会においてドーピング検査を行いました。検査はJADAの認定するドーピングコントロールオフィサー(DCO)4名の監視下で厳格に執り行われました。

2) 検査対象者

男女シングルス、男女ダブルス、男女ジュニアシングルの計6種目から各種目2名ずつ合計12名の選手を検査対象として抽出致しました。検査対象者の抽出は抽選により公正に行われております。

3) 検査結果

平成19年2月9日三菱化学BCLよりドーピング検査結果が日本卓球協会ドーピングコントロール委員会委員長のもとに書面により通知されました。

12検体全てにおいて禁止薬物の検出はありませんでした。

4) 検査結果詳細

検体番号	禁止薬物の検出	検体番号	禁止薬物の検出
3353281	(-)	3353592	(-)
3353483	(-)	3353593	(-)
3353586	(-)	3353595	(-)
3353587	(-)	3353596	(-)
3353588	(-)	3353597	(-)
3353590	(-)	3353599	(-)

以上